医療法人社団　心の絆

認知症専門病院　蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→

私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります

よつば通信 蓮田よつば病院 11月号

発行日　令和 2年 11月 1日

向寒の候、平素より当院の運営にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

季節の移り替わりが早く、今年も残すところ1ヶ月余りとなってまいりました。

振り返ると、今年は新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わるといった印象で、社会全体が大きく変わった一年でもあったように思います。

同時に私たちの生活様式も変わらざるを得ず、知らず知らずのうちに私達の心の中で、急な変化に対しての戸惑い、混乱、不安といった気持ちが積み重なっているようにも思います。

このコロナ禍において先が見えない不安を抱くことは極当然ではございます。その中でも、一筋の光を見つけるために、一歩ずつ新たな生活様式の創造へ向けて進んでいけるよう取り組んでいきたいと思っております。

ご面会の制限、当院来院時の検温や手指消毒、マスク着用の徹底、患者様や職員の院外活動の制限等、引き続きご協力を賜わりながらも、当院から地域の皆様へ様々な新たな取り組みを発信していけるよう人事を尽くして参りたいと存じます。

このような時代だからこそ、「つながり」を意識し、今の時代ならではの「つながり」を皆様とともに考え、広げていきます。

QOL推進部部長　稲橋秀樹

～元気の出るエピソード～

デイケアのご利用者様の中には朝の送迎時、お一人でお待ちの方もいらっしゃいます。「良かった、来ないかと思った。」と安心される方、「待っていたよ。」と嬉しそうに話してくださる方、手を握ってくださる方。言葉だけでなく明るくなる表情を見ると私のほうが元気をもらっている事を実感します。

入職し3年目となりました。ご利用者様、そしてご家族様に今までより、もう一歩寄り添った声かけ、関わりをしていきたいと思います。

デイケアわかば　　齋藤　陽子

私はデイケアわかばに来て約2年半が経ちました。

高齢化社会というニュースを見て、人の役に立てるお仕事がしたいと思い、介護のお仕事を始めました。介護のお仕事を続けていくうちに、認知症の方の気持ちをもっと理解できればと考えるようになりました。

こちらに来てくださるご利用者の皆様は、いつも元気に挨拶をしてくれて、優しく声をかけてくださります。ご家族様のお話では、お家での生活に苦労しているとお聞きする事もあります。

私たちはほんの少しのお時間しか一緒に過ごしていないのですが、「ここへまた来たい。」「楽しかったよ。」のお言葉を聞けることが、私の一番の元気の源です。

デイケアわかば　　南　恵

診もり短歌

～外来診察の血圧測定～

今日もまた外来に診る老い人の

脈に触れつつ　こころ通わす

Drねぎし

外来案内

診療科目		月	火	水	木	金	土
午前	認知症外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西（隔週）	休診
		根岸		一木（11/11、11/25のみ）			
	一般内科	白濱		白濱			
午後(新患のみ)			鈴木			安西	休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	
8：45～11：30	13:00～15:00	9：00～12：00	14:00～17:00	現在面会制限中※

※面会については患者様のご状態等に応じてご対応いたします。
また、スカイプを利用してお電話でのご面会もご対応しております。

病院方針

・身体拘束は原則おこないません
・薬物は適正に使用します
・言語的抑制を最小限にします
・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります
・紹介状
・お薬手帳をご持参ください。
予約時間の変更等につきましては、
１３時以降に外来にお電話下さい
〇休診日〇
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 認知症カフェ はすカフェ
毎月第一土曜日
１０：００～１２：０
蓮田よつば病院　１Ｆフロアにて実施

はすカフェは現在中止しております。

蓮田よつば病院
当院は認知症専門の病院です
〒349－0114　埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048－765－7777

医療法人社団　心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話：048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

～ よつばご飯 ～

※写真は職員食になります

献立
主食：きのこご飯（松茸入）
主菜：秋刀魚の塩焼き
（薬味ポン酢かけ）
副菜：オクラのなめ茸和え
副菜：鶏とじゃが芋の煮物
汁：味噌汁

栄養価
エネルギー：549kcal
たんぱく質：7.0g
脂質：17.4g
塩分：4.6g

季節を感じるということは認知症の患者様にとっては良い刺激となります。この時期になると、新米やきのこ、秋刀魚といった秋の味覚が出回るようになります。そういったものを食すことで一層「秋だな」と感じるのではないでしょうか。当院でも患者様に季節を感じて頂くために、旬の食材を取り入れるようにしております。今月は、秋の味覚の代表である松茸入りごはんと秋刀魚の塩焼き（薬味ポン酢かけ）を提供させていただきました。

管理栄養士　水野俊

看護部の取り組み

看護研究発表

拒食患者へのバリデーション技法を使用したアプローチ

3階病棟　◎佐々木隆樹　千葉雅英　田嶋恵　根本みえ
小林恵梨奈　堀之内陽子　今多太

【はじめに】

オーストラリアのクリスティーン・ブライデンは自分自身が認知症を発症してから「記憶に残るのはあなたが何を言ったかではなく、どんな風に話したかだ。私たちは感情はわかるが話の道筋はわからない。共感することが癒してくれる」と述べている。バリデーションとは尊厳と共感を基本とした技法である。この技法を用いて感情表出や行動心理症状の変化を研究したため報告する。

【事例紹介】

S氏（女性）84歳　アルツハイマー型認知症　主訴：拒薬・拒食・介護抵抗

気分にむらがあり、にこやかな時と無表情でスタッフに手がでる時がある。気分が乗らない時は食事を拒否してしまう。体格が良好なため次の食事が取れればそのまま様子を見ている。

【方法】

食事の場面で以下の技法を使用し声掛けした。

①オープンクエスチョン→「はい、いいえ」ではなく自由に回答できる質問を投げかける。
②リフレージング→相手の言葉と同じ言葉を繰り返す
③ミラーリング→言葉だけでなく、表情や声の大きさ、口調もまねて繰り返す。
④極端な表現を使う→極端なケースをイメージすることにより自分の気持ちを表現しやすくする。

【結果】

7月の食事摂取量は全量摂取が32%、1割以下摂取が13%であり、声掛けに対しても表情の変化があまりなく硬い表情であった。8月よりバリデーション技法を用いてコミュニケーションを実施。9月の食事の一場面で食事に手を付けようとしないS氏に「お手伝いしましょうか」「食べない」「食べないのですか？どうしましたか？」「まずい」「まずいのですか？嫌いなものがありますか？」「嫌いなものはない」「味見だけでもしてみましょう。お腹がすくし痩せてしまいますよ」ここで微笑みが出る。「お魚食べてみましょう」その後1/3摂取される。その後劇的な変化は見られなかったが、9月の全量摂取48%、1割以下10%と成果がでた。

【考察】

感情にむらがあるS氏の気持ちを受け止めるという要素がバリデーションにはある。否定や拒否といった抵抗感を打ち消し、大切にされているといった肯定的な感覚が相手に伝わり信頼関係が構築された。ミラーリングやリフレージングを使用することにより快刺激となり笑顔を引き出した。脳の活性化ににつながり行動心理症状が改善されるという良い循環作用をもたらすことが分かった。今後も活用していきたい。

【参考文献】

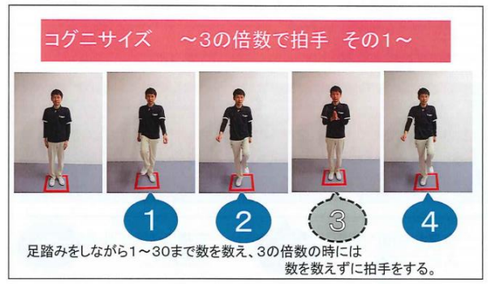
ナオミ・フェイル；バリデーション認知症の人との超コミュニケーション法　筒井書房

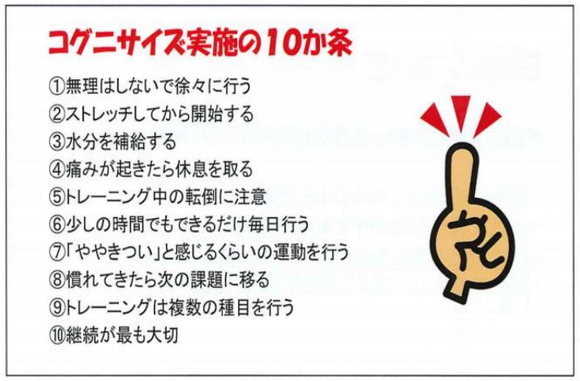
認知症予防への取り組み

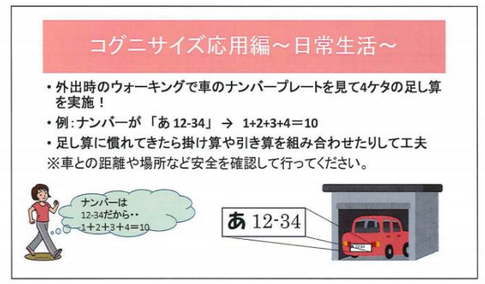
～ レッツ♫ コグニサイズ ～

QOL推進部　稲橋秀樹

今月はお家でもできる、認知症予防コグニサイズをご紹介させていただきます。コロナ禍において、大勢で集まることが難しくなっており、自宅で過ごす時間も多くなっているかと思います。お家でも気軽にできる認知症予防の体操を生活の中に取り入れてみましょう。





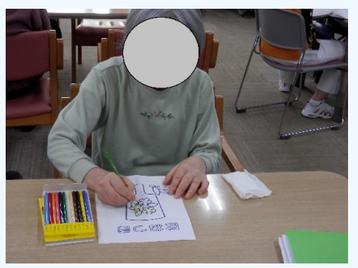


資料）国立研究開発法人国立長寿医療研究センターHPより　改変

～よつば病院作業療法風景～

習字活動

ぬり絵活動



今月の予定

○誕生会　　2階・3階病棟
　随時おこないます
○理美容　　2階・3階病棟
　第1・3木曜日

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させて頂きます。ご了承ください。